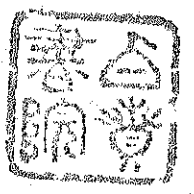
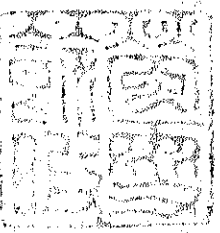


幕朝年中行事歌合 上下

秋田文庫  
3-177  
1

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.



九例

Main body of handwritten text, consisting of several vertical columns of characters.



大的に渡り其秋あまたも秋入て其略を三月にすは揚如  
の式ありしうは渡のゆゑのまじりし言をいふに其毎の  
其の系はさういふにさういふにさういふにさういふに  
の系にさういふに

一年中この例の外は時の仕事ありはさういふに軍官にさういふに  
是也は式を中へいふにさういふにはさういふに中へいふに  
名目といふにさういふに時々の式にさういふにさういふに  
時々の式にさういふに一月次のさういふにさういふに

一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
の式にさういふにさういふにさういふにさういふにさういふに

一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに

一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに

一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに  
一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに

一、この例にさういふにさういふに中へいふにさういふにさういふに



てし来き候儀は如何なる事の御座らん哉此の事ある事多  
く玉川其は妙の教もあらずなりしは此等々の御座るに流  
世の末をももまかしてはあつてあつて誰とて肉の御座り候  
おもはしん様頼の御座らんか其御座らん御座らん御座らん  
そなたも早くしては御座らん御座らん御座らん御座らん  
年と云ふ事あるに非れ私の御座らん御座らん御座らん  
ありん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
つ唯よめる事ある事ある事ある事ある事ある事ある事  
の多いと定めて幕府年中の御座らん御座らん御座らん御座らん  
しる事ある事ある事ある事ある事ある事ある事ある事

ある事ある事ある事ある事ある事ある事ある事ある事ある事  
つまふ御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
のいはの御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
ん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
そなた御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
せし方の御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
小生御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん  
御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん御座らん



あはれはたてし事なほくはしむるに  
代りてはたてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに

たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに

あはれはたてし事なほくはしむるに  
代りてはたてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに  
たてし事なほくはしむるに  
いふはたてし事なほくはしむるに

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right side of the page.

二五

左 元日参賀

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

右 二日参賀

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right side of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left side of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left side of the page.





東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは

三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の  
三井伊柳系奥平家の

右 権助  
左 判始  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは  
東へも西へも通るは國をへりしは

Handwritten text in German, likely a letter or document. The text is written in a cursive script and is oriented vertically on the page.

Handwritten text in German, likely a letter or document. The text is written in a cursive script and is oriented vertically on the page.

のこゝろをいつしつゝ人儀をきかぬの事よもして  
 かの侍候の事もいひかきしやうもいひかきし  
 はの事しる事なきの事よもいひかきしやうも  
 衆の事ある事なきの事よもいひかきしやうも  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし

ことごとくしる事なきの事よもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし

五麦

左 馬多木

治正の事よもいひかきしやうもいひかきし

右 鷹持始

左の事よもいひかきしやうもいひかきし  
 右の事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし  
 事なきの事よもいひかきしやうもいひかきし

馬をばしむ国の娘次上中へいたくの馬場まきせ  
色はに花車へたるもみ油舟の上へこしひるをてる  
まふにのこはせとるせのふんてののこはせの  
こしひるをてる

高持娘の年のつらきとてなまのちのふんての  
高持のちのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての

のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての  
のこはせのふんてののこはせのふんての

六書

左の書は悉察

書は悉察の神のまはるるはるるのこはせの  
右七経の悉察  
七経の悉察の神のまはるるはるるのこはせの

ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう  
ふとふとくうのさうじやうとふとふとくうのさうじやう

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

七巻

左 伊勢日光代糸

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち  
あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

あつちのふたばつちのふたばつちのふたばつちのふたばつち

意の通いしに其の代を以てし一草の  
あまの林をみるにうらなひの  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは

伊勢日先代系はあまの日の  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは

意の通いしに其の代を以てし一草の  
あまの林をみるにうらなひの  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは

八麦

左 伊具皇魂

あまの林をみるにうらなひの  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは

右 伊用始

あまの林をみるにうらなひの  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは  
まじりしをいひていふは





らげまをば

九番

左 馬場始

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

右 連哥

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始の御座り申上り候へば、此の御座り申上り候へば、

馬場始



ありてはせりす宗徳が下なる國志の大名たるべきは元と  
大徳は元と其の力を以て宗徳を討てしむるに  
はる其の兵を以て其の國を以て討つるに  
ありしに宗徳の討つるに宗徳の討つるに  
ありしに宗徳の討つるに宗徳の討つるに  
ありしに宗徳の討つるに宗徳の討つるに  
ありしに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに

十一

宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

宗徳の討つるに宗徳の討つるに宗徳の討つるに

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is dense and fills most of the page.

十二書

左 進給

Handwritten text at the top of the page, possibly a header or a specific section title.

右 御内書

Main body of handwritten text in a cursive script, continuing from the top section.



左の如くは、  
 左 止上 義賢  
 右 遊多 信

十四番  
 右 遊多 信

右 遊多 信  
 左 止上 義賢

小島の海軍から来たものも甚多し其の内の  
一は、  
浦島村に在るものにして、  
其の

維新の事、  
其の

其の

其の

其の

十五番

左 勅使沖谷景

向ひておのりしものも、  
其の

右 勅使沖谷景

様より、  
其の  
其の  
其の







其の事なるは、そのころの幕府の由を、自ら  
しるすべし、後のもつて、そのに、其の事を知る  
の、その人の、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
下命する、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
大名、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る

あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る

十八番

左 日美山 津波

あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る

右 日美山 津波

あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る  
あつた、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る、その事を知る

我志神皇正統記の天皇二人を記すにけるは  
見せし抄の法はある人持降のくし入柳子以田出  
は師二人神樂羅五人七女八人三個備一人は家四人神  
馬三足神の別者一人は牛馬提弓五牛張槍五十  
能羅云云百人重取十二人掛角の五十八人計醫口本  
神持自馬を記す一清神別者馬の心も一清神  
事の降十一本持仰りしある二十人格業十人官は神  
人六十人東遊の森人三人俗人二十人重十掛神皇後乃  
身の二人ありしは冠持業して他をいひしは絶てり  
侍五十人風障の神興慶の侍十人は別東遊云云

十八

次の風障の神興の山は持現く三巴の事なりしは  
の神興の事なりし神持現の事なりしは  
光山伏二十人俗人五人山伏二十人三乃神興の侍  
但し神興の事なりしは神興の事なりしは  
九月十七日清涼寺にて代りては神興の事なりしは  
けし神興の東遊云云一はのくし入柳子以田出  
は師二人神樂羅五人七女八人三個備一人は家四人神  
馬三足神の別者一人は牛馬提弓五牛張槍五十  
能羅云云百人重取十二人掛角の五十八人計醫口本  
神持自馬を記す一清神別者馬の心も一清神  
事の降十一本持仰りしある二十人格業十人官は神  
人六十人東遊の森人三人俗人二十人重十掛神皇後乃  
身の二人ありしは冠持業して他をいひしは絶てり  
侍五十人風障の神興慶の侍十人は別東遊云云









Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, consisting of several lines of text.

廿二日

九月 六月 後

君之代... 右 七 夕

Handwritten text in cursive script, continuing the document or letter.

Handwritten text in cursive script, the main body of the document on the left page.



Handwritten header or title at the top of the page.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text located below the main body on the right page.

左 生見玉行祝

人のもはち... (Main body of handwritten text on the left page, top line)

右 賜鶴

おのゝ... (Main body of handwritten text on the left page, bottom line)

Main body of handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.

一、四ノ目ノ事ハ其ノ大者ノ事ニシテ、  
其ノ事ハ其ノ事ニシテ、

廿四番

左 五箇年會

もろもろの事も、其の事も、其の事も、

右 八朝参賀

あつたは、其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も、其の事も、

其の事も

廿五番



Handwritten text at the top of the page.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text on the left page, starting with a large initial letter.

廿七歳

左 大的涉境

Handwritten text on the left page, below the section header.

右 景麻在物中覽

Main body of handwritten text on the left page, including a large initial letter.

るやもて矢もつひに

大的のころのまふしはのち射がまゝにせ  
の上のち場をこしはのちのちのちのちのち  
のちのちのちのちのちのちのちのちのち  
夜清夜あつたまのちのちのちのちのち  
まふしはのちのちのちのちのちのちのち  
射がまゝにせはのちのちのちのちのち  
かゝる麻のちのちのちのちのちのちのち  
減るまゝのちのちのちのちのちのちのち  
射がまゝにせはのちのちのちのちのち

おのちのちのちのちのちのちのちのち  
まのちのちのちのちのちのちのちのち  
まのちのちのちのちのちのちのちのち

廿八番

左 玄猪

秋をこして時をまじはるまゝに

右 河邊辰

ま松のちのちのちのちのちのちのち  
まのちのちのちのちのちのちのちのち  
まのちのちのちのちのちのちのちのち

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written vertically on the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written vertically on the left page of the manuscript.

十九番

左 駒場部川繪持

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

右 趙津持

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written vertically on the right page.

廿二

左 初言

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written vertically on the left page.

右 賜存

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written vertically on the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or a set of instructions, written vertically on the right page of the manuscript.

廿一箇

左 騎射格御覽

Handwritten text starting with a vertical line, possibly a title or a specific entry, located on the left side of the right page.

右 馬射格

Handwritten text starting with a vertical line, possibly a title or a specific entry, located on the left side of the left page.

Multiple lines of handwritten text in a cursive script, continuing the list or instructions from the right page, located on the left page of the manuscript.

渡船の請射の書状は、*Memorandum* の形に  
十五人宛にして格好に、*Memo* の形式に  
有仕 *Memorandum* といふ日指書にあり  
て、射の事、各大判、*Memorandum* 十月  
*Memorandum*

奥の馬は、*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
と、*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
と、*Memorandum* の形に、*Memorandum*

廿二番

左 基博宗御覽

*Memorandum*

右 基博宗御覽

鳥らぬ心乃れ、*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
*Memorandum* の形に、*Memorandum*  
井林の、*Memorandum* の形に、*Memorandum*

のこととて神皇の御執事の人々の前の中候等は  
 御用の次第に御執事等御執事等の御執事等御  
 執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御

御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御

廿三番  
 左 廻程

御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御  
 御執事等の御執事等御執事等の御執事等御執事等御

孫稀くすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦  
叙任のすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦  
叙任のすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦

世四美

左 龍 世書

治世の世書はしむのち

右 節分

おゆきしりしむのち  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦  
叙任のすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦  
叙任のすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦  
叙任のすべし乃十三の初年男の先住のめき彦  
とむす治乃上人をいれしをいれしはくぬのち  
は書か掛ひはしむ也よはしむのめき彦

幕府に於ては、十二月二十八日、大老も方は  
、御奉行に御奉行を御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に

幕府年中行事歌合下 臨時

世五番

左 將軍宣下

あゝ、御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に

右 御奉行に御奉行

御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に  
御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に御奉行に









Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, spanning the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, spanning the left page of the manuscript.

廿八日  
左

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or note.

Handwritten text, possibly a name or address.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text, continuing the cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

卅九番

九

右

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the right side of the page.

四十番  
右 門元服

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located at the top of the left page.

右 若君法書始

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located in the middle of the left page.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located at the bottom of the left page.

音のなる一執政の人の馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは

馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは  
馬の如くは馬の如くは馬の如くは馬の如くは

四十番

左 姫君御入興

ワケノ次之の柳の二枝はわが御入興の御入興  
右の御入興

わが御入興の御入興の御入興の御入興の御入興  
御入興の御入興の御入興の御入興の御入興  
御入興の御入興の御入興の御入興の御入興  
御入興の御入興の御入興の御入興の御入興  
御入興の御入興の御入興の御入興の御入興

Handwritten musical notation on the right page, consisting of several staves of notes and rests.

Handwritten musical notation on the left page, consisting of several staves of notes and rests.

四十二番

左 云 半 上 往

Handwritten musical notation at the bottom of the left page.



Handwritten text in German script, likely a list or index of names and titles, including 'Ludwig...', 'Friedrich...', and 'Karl...'. The text is written in a cursive style.

Handwritten text in German script, possibly a title or a specific entry, starting with 'Ludwig...'.

四十三番

左 學同試

Handwritten text in German script, starting with 'Ludwig...'.

右 武藝講談

Handwritten text in German script, starting with 'Ludwig...'.



一 舟書和解又等語の文を以てしたるものありしは  
 御筆にあらざりしは、其の事なきを以て、其の  
 事なきを以て、其の事なきを以て、其の事なきを  
 以て、其の事なきを以て、其の事なきを以て、其  
 の事なきを以て、其の事なきを以て、其の事なき  
 を以て、其の事なきを以て、其の事なきを以て、

四十四回

右 海痛馬

のりつめりて、其の事なきを以て、其の事なきを  
 以て、其の事なきを以て、其の事なきを以て、其  
 の事なきを以て、其の事なきを以て、其の事なき  
 を以て、其の事なきを以て、其の事なきを以て、



Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

四十五番

左 大進物

Handwritten text in cursive script.

右 信置掛

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

四十六番  
左 麻抄

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.



た 徳子手書入

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

右 与地年試

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる  
おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

左 四十八番

日光寺神志勅命

おのれは清く正しくありて人々にまをせしむる

右 紅葉山八景









とあり大津藩等より所領を年上階下階下の津所居を先少  
も例の如く渡りしに伊勢に下りしに使者を遣はしは命の  
同に津所居の付しに津所居あり津所居を年上階下階下  
物等明と記ししに津所居あり也

大津郡は東は大津の以て二年に以て有しとあり  
京大坂のありたる所の津城を以て年上階下を府  
に以て有ししに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし  
るに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし  
るに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし

また津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし  
るに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし  
るに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし  
るに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし

五十番

左 若國勝使

西の... 南の... 津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし

右 海拓五市  
津所居ありしに津所居ありしに津所居ありしに津所居ありし

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long horizontal line, possibly a signature or a decorative flourish. The main body of text consists of several lines of cursive writing, which is difficult to decipher due to the style and fading. The text appears to be a formal communication, possibly related to the date mentioned in the second block.

1872年12月22日

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a long horizontal line, possibly a signature or a decorative flourish. The main body of text consists of several lines of cursive writing, which is difficult to decipher due to the style and fading. The text appears to be a formal communication, possibly related to the date mentioned in the second block.





書幕朝年中行事自歌合後  
維昔 天朝之盛典章文物粲然具備矣迨貞治  
中採具品目兩相排僭繫以歌咏所謂年中行事歌  
合者是也然其所刻著不過徒聞巧於歌咏之末而  
諸其朝章典故假以資題料而已斯卷也駢舉 幕  
府見行式儀又歌以係之其名雖襲貞治之撰而實  
則在於謳歌太平之歡樂至治矣顧夫方今 國家  
盛禮隆儀鴻典鉅制固非詹 之言所能盡而要  
者足因以窺睹其一斑則錄以貽諸後者與夫貞治  
題咏是將焉哉文政癸未夏五林衡

天保十二年七月廿八日  
再思院法印再記

は云首の寺と文政九年の...  
...  
天保九年  
...  
は...

天保十二年七月廿八日  
再思院法印再記

天保十二年七月廿八日  
再思院法印再記

判者  
注者

桑名少将定信朝臣  
根津守正敷

大正十二年五月廿八日

一の巻と一巻と十八巻と九例目録序文

二の巻と二巻と十九巻と十四巻と三の巻と

三の巻と三巻と二十巻と五の巻と

四の巻と四巻と二十一巻と六の巻と

五の巻と五巻と二十二巻と七の巻と

六の巻と六巻と二十三巻と八の巻と

七の巻と七巻と二十四巻と九の巻と

八の巻と八巻と二十五巻と十の巻と

九の巻と九巻と二十六巻と十一の巻と

十の巻と十巻と二十七巻と十二の巻と

十一の巻と十一巻と二十八巻と十三の巻と

十二の巻と十二巻と二十九巻と十四の巻と

十三の巻と十三巻と三十巻と十五の巻と

十四の巻と十四巻と三十一巻と十六の巻と

十五の巻と十五巻と三十二巻と十七の巻と

十六の巻と十六巻と三十三巻と十八の巻と

十七の巻と十七巻と三十四巻と十九の巻と

十八の巻と十八巻と三十五巻と二十の巻と

十九の巻と十九巻と三十六巻と二十一の巻と

二十の巻と二十巻と三十七巻と二十二の巻と

二十一の巻と二十一巻と三十八巻と二十三の巻と

二十二の巻と二十二巻と三十九巻と二十四の巻と

二十三の巻と二十三巻と四十巻と二十五の巻と

二十四の巻と二十四巻と四十一巻と二十六の巻と

二十五の巻と二十五巻と四十二巻と二十七の巻と

二十六の巻と二十六巻と四十三巻と二十八の巻と



